



南さつま市の取組

人権教育の充実



平成22年度開催した「人権教育講演会」では、「差別をなくしともにささえ合うまちに」をテーマに、「生きる勇気と力」と題した部落解放同盟鹿児島県連合会執行委員長の山口武文氏の講演を行い、大きな示唆が得られました。

この実践を基盤に、平成23年度は、市長部局の市民生活課と提携して「南さつま市人権フェア」を開催することができました。オープニングのふれあいコンサートでは、マンドリンの優しい調べに参加者は魅了されました。人権尊重標語コンクール表彰や人権啓発キャラクターとのふれあいの後、翻訳家の池田香代子氏に「100人のむら、あなたもここに生きています」という演題で講演をいただき、盛況のうちにしめくることができました。



心和ふれあいコンサート

人権尊重意識の高揚をめざす学習機会として開催したこのフェアで、テーマ「みんなで広げよう人権の輪」に大きく迫ることができたとらえています。

次年度も、引き続き人権教育講演会の開催を行い、人権教育の更なる充実を図っていきたい。

心輝け 広がれ読書運動の推進

平成22年度は、読書推進協議会を5回開催し、「南さつま市子ども読書活動推進計画」の改訂について協議しました。

平成23年度は、冊子の作成・配布を行いました。その中で、学校におけるホワイトカードゼロ運動の推進や読み聞かせ等の読書活動の充実はもとより、家庭や地域における読書活動の充実に資する連携のあり方や具体的な実践事項・実践例を紹介しました。

また、本市では、世代別に「いっしょに読書」・「まいにち読書」・「すすんで読書」・「つなげる読書」・「ずっと読書」の合言葉を設定し、中央図書館や地区公民館図書室、保育所や幼稚園とも連携して、ブックスタートやカンガルータイムの普及も進めています。



熱心に聞き入る園児たち

その他、読書標語や読書感想画コンクールも毎年開催し（1月開催の「南さつま人 心輝け 市民フェア」で表彰）入賞作品のポスター掲示による読書運動の広報・啓発に努めています。

【読書活動の合言葉】

学校・家庭・地域で、子ども読書活動を推進するために、各年代別にキャッチフレーズを設置しました。	乳 幼 児 期	いっしょに読書
	小学校低・中学年	まいにち読書
	小学校中・高学年	すすんで読書
	中学生・高校生	つなげる読書
	社 会 人	ず っ と 読 書

